

## 医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）中間評価結果

### 1. 中間評価を実施した課題

課題名	産医連携拠点による新たな認知症の創薬標的創出
代表機関	エーザイ株式会社
公募型	一般型
公募タイプ	研究開発タイプ

### 2. 本課題の概要

我が国の認知症患者数は現在約 400 万人以上にのぼり、2025 年までに患者数は 700 万人以上に増加すると推計されている。本課題では臨床研究を通じ、慶應義塾大学の強みである百寿者試料や脳画像・神経心理検査情報と紐づいた認知症患者試料等の価値の高い臨床試料の取得を行う。

さらに、それらの臨床試料を活用し、認知症治療薬研究の経験を有するエーザイの強みを発展させたオミクス分析や AI を活用した多次元相関解析により、脳の堅牢性および防御機構に着目した創薬仮説に基づくアルツハイマー病の新規治療となり得る標的分子を見出すことを目的とする。

### 3. 評価結果

研究開発等の進捗状況及び今後の見込みについて評価した結果の概要を以下に示す。

「認知症に対する創薬標的の発見を目標に研究をとり進め、今回候補遺伝子 3 種を見出した。うち 1 種類は認知症モデルでの検証を実施し、創薬標的となり得る結果を得ており、今後更なる進展が期待される。」

以上、研究開発実施計画書で設定されたマイルストーンの達成目標にもとづき、進捗を確認した結果、本課題の継続を可と評価した。

以上